



長岡空襲80年を語り継ぐ



8/1 空襲体験を話す
平澤甚九郎さん
(市ホームページより)

た運命の分かれ道」

旧与板町長を務められた

験をお話された。私は旧制長岡中学の2年。大本営発表のみの情報で、「撃ちてし止まん」の気概にあふれ「神の国日本が絶対勝利する」と確信する軍国少年でした。

8月1日夜、空襲警報で飛び起き、防空頭巾と救急袋を手にしたが怖くて押し入れに隠れた。下宿のおばさんの声で我に返り、家を出た。避難する電車が行きかう中を栖吉方面に逃げ、



8/1 市議と一緒に鎮魂たむけの花

命からがら田んぼに倒れ込んだ。稲の夜露が体を癒やしてくれた。

逃げたお寺で頂いたおにぎり
と味噌汁がありがたく
今でもその味を思い出す。
長生橋方面に逃げた同級
生は命を落とした。

リアルなお話しが胸に突き刺さりました。

未来につなぐ取り組み

子どもたちの平和作品も
素晴らしく、涙無しには聞
けませんでした。戦争は決
して起こしてはならない。
子どもたちに伝えていく大
事な取り組みです。開催が
続いていくことを願います。

※撃ちてしまん」とは、敵を撃つ
まで戦いを止めない」という意味



8/3 2025原水爆禁止世界大会 国際会議の様様

国連の代表が原水爆禁止世界大会に参加
世界は核兵器廃絶に向かって確かな歩み

8月3日から9日まで、被爆地の広島、長崎両市を主会場で被爆80年の原水

市民社会がつどい、核兵器廃絶に向けた共同の発展について議論します。

爆禁止2025年世界大会
が開かれる。新たに国連
と、中東非核地帯構想を提
唱しているエジプト、非同
級代表は6日のヒロシマ
デー集会でスピーチしま
す。(しんぶん赤旗より)

盟運動のキューバの政府代表が参加することが分かりました。「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を―人類と地球の未来のために」のテーマのもと、国連、諸国政府代表、

市民社会がつどい、核兵器
廃絶に向けた共同の発展に
ついて議論します。

国連の中満泉軍縮担当上
級代表は6日のヒロシマ
デー集会でスピーチしま
す。(しんぶん赤旗より)

暑い日が続いています。稲も穂が出始めました。高温は稲にも夫は動力で肥料撒血し大変どで動噴と稲の品という。は水不足も米不足

重い“動噴”で肩に内出血

噴霧機担いき。肩は内出血だ！高齡なを担げない質が落ちる中山間地でが深刻。今年が心配です。

転作田の豆も異常な暑さ
で水を入れてます。野菜は
頑張つて実をつけてはいるが

遠藤れい子の
笑顔でファイト

キャベツは硬い。気
候危機打開
に向けて、行
動しよう！

